

火の魂ファミリーへ、2016年4月の1ヶ月もお疲れ様でした。

今回の手紙は、2017年入社の新卒採用の会社説明会で話した内容を書いてみたいと思う。

【90歳の老人が語る人生の教訓】とある学者が90歳を過ぎた老人100人に、「90年の人生を振り返った時に一番後悔していることは何ですか？」という質問を問いかけたところ、70%の老人が同じことを答えた。

皆さんは何だと思う？先日、開催された新卒採用一次選考会で同じ質問を学生たちにもしてみたが、半数は同じように答えていた。

それは……。 70%の老人が答えた後悔している事とは、「もっと自分らしく冒険(チャレンジ)しておけばよかった」という、無難に生きてしまった事への後悔だ。

人は大人になると、チャレンジすることを恐れるようになる。

なぜ「チャレンジ」や新しいことに「冒険」することを恐れるようになってしまうかという、失敗することが怖くなるからだ。では失敗とはどんな状態だろうか？

一般的には、チャレンジして上手くいかなかった事を失敗と思いがちだが、それは新しいことにチャレンジして数回上手くいかない経験を積んだだけで、実は上手くいかなかった経験を次に活かさず「チャレンジを諦めてしまう」ことで初めて本当の失敗になるのだ。

私は、いつも思うことがある。

私が思い描く未来への一つひとつのチャレンジの最初は大抵上手くいかないし、周りからは「出来もしないのに」とか「また周りを混乱させて」など、チャレンジしたことでさえ批判されることも多々ある。でも、新しい事にチャレンジして最初から上手くいくような「チャレンジや冒険」なんて、人生を面白くする真の冒険ではないのだ。冒険とは、とてつもなく壮大で夢やロマンがあるものだから、上手く沢山の経験を積んで冒険する者がドンドン成長していくのだ。

つまり、人生は壮大な冒険だ！と考えれば、上手くいかなかった経験こそが自分自身を成長させ、乗り越えられなかった壁を越えられるようになり、人として成長し人生が豊かに面白くなるのである。

一度きりの人生を振り返った時に、沢山上手くいかなかったけど、それを諦めずに乗り越え人として成長してきた思い出が人生を豊かにすると私は考えている。

私は人生最後の一日まで、新しい事へとチャレンジしていきたいし、上手くいかない経験を「人生の経験値」と考え、野沢賢司という人生の冒険家として、多少リスクや危険があったとしても、その冒険の先に自分だけの秘境があると信じて、思いっきりチャレンジして生きていきたい。

皆も一度きりの自分の人生の冒険者となって、壮大な冒険を楽しんでほしいと思う。